

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	保育カウンセラー事業						掲載ページ		
							41		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		3,011	千円	3,083	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	保育カウンセラーと保育アドバイザーが市内認可保育所を訪問し、児童虐待の疑い、養育困難など処遇の困難なケース、気になる子どもの対応について、保育所の相談に応じ、子どものケアなどの必要な指導を行います。また、緊急の案件が生じた際に、迅速に保育所に向き、児童、保護者、保育士等の心のケアを行います。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	保育カウンセラーと保育アドバイザーが市内認可保育所を訪問し、児童虐待の疑い、養育困難など処遇の困難なケース、気になる子どもの対応について、保育所の相談に応じて、助言、指導などを行います。また、緊急の案件が生じた際に、迅速に保育所に向き、児童、保護者、保育士等の心のケアを行います。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	保育カウンセラーと保育アドバイザーによる保育所訪問等、保育所への対応の回数		199回	200回	199回	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	保育カウンセラーと保育アドバイザーが市内認可保育所を訪問し、虐待等の疑われる子どもの観察・指導・保育所職員のカウンセリング、児童処遇に関する相談等を実施することが子どもの支援となり、保育所の質の向上になるため、指標に揚げました。 (最終目標と最終年度)				99.5%		
						順調	順調
(最終目標と最終年度)				%	やや遅れ 遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	虐待の疑われる子どもやその保護者に対応する保育所24か所、気になるこどもに対応する保育所38か所、183件の事例について保育所への助言、指導等を通し、虐待への意識の向上、保育所の負担軽減を行いました。また、訪問して一定期間後に電話連絡等のフォローを行い、継続した支援を行いました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	カウンセリング等の専門的指導をする上で、これ以上のコスト削減はできません。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
重篤な案件を抱える保育所については優先的に継続して支援していきます。また、保育所が抱えているグレーゾーンの子どもたちへの対応も支援していきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	研修内容の充実(保育所)							掲載ページ	
								41	
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		4,406	千円	4,507	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価				
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	施設長や保育士等の資質向上のため、北九州市社会福祉研修所の研修について、その効果を検証しながら内容等の検討を行い、一層の充実を図ります。具体的には相談技術、児童虐待問題、情報化や国際化等の研修を充実します。また、市内外で行われる専門研修に積極的に参加します。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	新任・中堅・主任級研修や課題別(言葉・表現・健康)研修、保育ゼミナール、乳児保育、統合保育、カウンセリング研修、心理学、施設長研修等全17項目を、延べ日数71日、参加人数1,617名で実施します。							
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	施設長や保育士等の研修の実施		72 日	71 日	71 日	100.0 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	施設長や保育士等が研修を受けることで、資質の向上につながると考え、研修実施の延べ日数を活動指標としました。 (最終目標と最終年度)							
							順調	順調
(最終目標と最終年度)						やや遅れ 遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	計画した17項目(延べ日数71日 参加人数1,617名)の研修を年度内に履修しました。また、研修プログラムの改編や講師の変更等を行いました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	北九州市福祉事業団に委託された社会福祉研修所は、長年の実績があり優れた研修のノウハウを持っています。同コストで今まで以上の研修を企画・実施することは困難と考えます。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
研修生のアンケートを基に、プログラムの改編、講師の変更を実施し、研修内容の充実を図ります。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	認可外保育施設研修代替職員費補助						掲載ページ		
							41		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		152	千円	194	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	北九州市内に所在する認可外保育施設(届出対象施設)が市主催の研修に参加するために、代替職員を雇用した場合の経費の一部を補助することにより、認可外保育施設の職員の資質向上及び入所児童の処遇向上を目指します。				
活動計画	北九州市内に所在する認可外保育施設(届出対象施設)が市主催の研修に参加するために、代替職員を雇用した場合の経費の一部を補助することにより、認可外保育施設の職員の資質向上及び入所児童の処遇向上を目指します。					活動実績 活動結果は下記のとおりです
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	研修に参加した認可外保育施設	33 施設	36 施設	36 施設	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	施設における安全保育や子どもの人権、保育技術等の研修、感染症等の最新の情報を盛り込んだ研修会へ参加することで、職員の資質向上を図ることができると考え、活動指標としました。 (最終目標と最終年度)			100.0 %		
					順調	順調
(最終目標と最終年度)				やや遅れ 遅れ		

【Check】評価(分析)		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。
		対象施設40施設中、36施設が研修に参加しました。 26年8月 1日 39施設中26施設参加(45人)/26年11月12日 39施設中16施設参加(20人) 27年1月11日 39施設中13施設参加(17人)/27年1月16日 39施設中16施設参加(25人) 27年2月13日 40施設中28施設参加(43人) 本事業は、認可外保育施設に従事する職員の資質向上および入所児童の処遇向上を図るものであり、ニーズが高く、その有効性は高いと考えます。
		民間保育所運営補助金における職員代替に係る経費から積算(有資格者3,605円、無資格者3,065円)。雇用に係る経費の一部補助であるため、これ以上補助額を下げると、代替職員の雇用ができず、研修への参加を断念する施設が増えるおそれがあります。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
認可外保育施設職員に向けた研修を開催し、職員の資質向上をめざし、施設や職員の資質向上及び入所児童の処遇向上を目指します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	保育指導専門員の配置						掲載ページ
							41
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		3,608 千円	3,646 千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	認可外保育施設の指導監督を強化するため、認可保育所の所長経験者を保育課に配置し、きめ細かな指導を行い、施設や職員の資質向上及び入所児童の処遇向上を目指します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	認可外保育施設の指導監督を強化するため、認可保育所の所長経験者を保育課に配置し、きめ細かな指導を行い、施設や職員の資質向上及び入所児童の処遇向上を目指します。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	保育指導専門員の数 認可保育所の所長経験者を配置し、認可外保育施設に対してきめ細やかな指導を行うことが、施設や職員の資質向上につながると考え、活動指標としました。 （最終目標と最終年度）	2名	2名	2名 100.0%	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	認可外保育施設への立入調査の実施 認可外保育施設（届出対象施設全て）の立入調査において、指導監督を行ったことから活動指標としました。 また、新設の認可外保育施設に対して、適宜、指導監査を行いました。 （最終目標と最終年度）	38施設	39施設	39名 100.0%	順調 やや遅れ 遅れ	順調

【Check】評価（分析）		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	本事業は、認可外保育施設に対する指導監督を強化するため、平成19年度より認可保育所の所長経験者である保育指導専門員を配置し、きめ細かな指導を行ったものであり、その有効性は高いと考えます。
「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	現在の指導専門員は、嘱託員であり、経済性や効率性も重視した雇用形態としています。また、現在は、主任、係長共に保育所長経験者であるため、立入調査の際は、主任、係長が保育指導専門員と併に出向くことで、よりきめ細かな指導が可能と言えます。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
認可保育所の所長経験者である再任用職員を配置し、保育指導員とともにきめ細かな指導を継続します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	児童福祉施設第三者評価事業						掲載ページ		
							41		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		1,136	千円	2,551	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課 子育て支援課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	保育所や児童養護施設等について、より適切な情報の提供やサービスの質の向上を図るため第三者評価事業の一層の普及を図ります。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	保育所や児童養護施設等について、より適切な情報の提供やサービスの質の向上を図るため第三者評価事業の一層の普及を図ります。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	「第三者評価事業」参加施設数(総数:保育所分のみ)	148 施設	160 施設	150 施設	93.8 %	大変順調	
	福祉サービスの質の向上と、利用者への事業者選択情報の提供が必要と考え、「第三者評価事業」参加施設数を活動指標としました。 (最終目標と最終年度) 参加施設数の増加 (平成26年度)						
	「第三者評価事業フォローアップ研修会」開催	実施	実施	実施	順調	やや遅れ	
市内認可保育所の施設長、保育士を対象に「第三者評価事業フォローアップ研修会」を開催し、「北九州児童福祉施設等評価基準(保育所編)」の活用について理解を促進し、事業参加への動機付け及び保育の質の向上を図ることが必要と考え、活動指標としました。 (最終目標と最終年度)							

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	市内認可保育所について、通常評価2施設、再評価(三年次評価)7施設の第三者評価を実施しました。児童養護施設等については、6施設が受審しました。また、「第三者評価事業フォローアップ研修会」を開催したことから順調としました。(平成27年2月23日) 本事業は、事業者の提供するサービスの質の評価を行うとともに、サービスの利用を予定している方に対して適切・円滑にサービスを利用できるよう情報提供を行うものであり、その有効性は高いと考えます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	北九州市の保育の質の向上に最適な事業であり、また、低コストで経済的・効率的に実施しており、コスト削減は困難です。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
<p>保育所について、より適切な情報の提供やサービスの質の向上を図るため、第三者評価事業の一層の普及を図ります。また、市内認可保育所の施設長、保育士を対象に「第三者評価事業フォローアップ研修会」を開催し、「北九州児童福祉施設等評価基準(保育所編)」の活用について理解を促進し、事業参加への動機付け及び保育の質の向上を図ります。</p> <p>児童養護施設等については、3年に1回の受審が義務付けられているため、今後も計画的に受審を進めていきます。</p>

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	認可外保育施設衛生・安全対策事業(職員分)						掲載ページ
							41
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		92 千円	153 千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	認可外保育施設に従事する職員の感染症などへの罹患を未然に防止することにより、施設を利用する児童の衛生及び安全を確保するため、北九州市内に所在する認可外保育施設に勤務する職員の健康診断に要する経費の一部を、市が予算の範囲内で補助します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです	
活動計画	認可外保育施設に従事する職員の感染症などへの罹患を未然に防止することにより、施設を利用する児童の衛生及び安全を確保するため、北九州市内に所在する認可外保育施設に勤務する職員の健康診断に要する経費の一部を、市が予算の範囲内で補助します。					
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	職員の健康診断を実施した認可外保育施設	38 施設	39 施設	39 施設	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	施設を利用する児童の衛生及び安全を確保するため、職員の健康診断の実施を促進しすることが必要と考え、活動指標としました。 (最終目標と最終年度)			100.0 %		
	(最終目標と最終年度)					順調

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	認可外保育施設(届出対象施設)39施設中、39施設は職員の健康診断を実施したことから順調としました。 本事業は、認可外保育施設に従事する職員の感染症などへの罹患を未然に防止することにより、施設を利用する児童の衛生及び安全を確保することを目的としており、ニーズが高くその有効性は高いと考えます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	補助額については、制度創設時における本市が一般市民向けに実施する基本健診受診料を参考としており、これ以上補助額を下げることで、これまで健康診断を実施してきた施設が実施しなくなるおそれがあります。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
認可外保育施設に従事する職員の感染症などへの罹患を未然に防止することにより、施設を利用する児童の衛生及び安全を確保するため、北九州市内に所在する認可外保育施設に勤務する職員の健康診断に要する経費の一部を、市が予算の範囲内で補助します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	認可外保育施設衛生・安全対策事業(児童分)						掲載ページ		
							42		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		1,277	千円	2,281	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	乳幼児の衛生及び安全を確保し、その健全育成に資するため、北九州市内に所在する認可外保育施設を利用する児童の健康診断に要する経費の一部を、市が予算の範囲内で補助するものです。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	乳幼児の衛生及び安全を確保し、その健全育成に資するため、北九州市内に所在する認可外保育施設を利用する児童の健康診断に要する経費の一部を、市が予算の範囲内で補助するものです。					
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	児童の健康診断を実施した認可外保育施設	38 施設	39 施設	39 施設	100.0 %	大変順調
	乳幼児の衛生及び安全を確保し、その健全育成に資するため、児童の健康診断の実施を促進することが必要と考え、活動指標としました。 (最終目標と最終年度)					
(最終目標と最終年度)						順調

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	市内全ての認可外保育施設において、児童の健康診断を実施したことから順調としました。本事業は、乳幼児の衛生及び安全を確保し、その健全育成に資することを目的とするため、ニーズが高くその有効性は高いと考えます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	民間保育所運営補助金における、嘱託医に係る経費から積算(児童一人当たり年額3,000円)し、補助額を設定しています。これ以上補助額を下げると、これまで健康診断を実施してきた施設が実施しなくなるおそれがあります。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
乳幼児の衛生及び安全を確保し、その健全育成に資するため、北九州市内に所在する認可外保育施設を利用する児童の健康診断に要する経費の一部を、市が予算の範囲内で補助します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	家庭支援推進保育事業の実施						掲載ページ
							42
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		67,775 千円	69,110 千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	家庭環境に対する配慮など、保育を行う上で、特に配慮を必要とする子どもと保護者への支援に取り組み、子どもの健やかな育成を図ります。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	家庭支援推進保育実施保育所において、必要に応じて保護者等に助言、子どもたちの生活環境の改善等処遇向上を図ります。					
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	家庭訪問や個人懇談を実施している保育所数	17 施設	17 施設	17 施設	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	家庭訪問や個人懇談をすることで、子どもについての情報交換や保護者等への助言をすることができ、子どもの健やかな育成を図ることができると考え、活動指標としました。 (最終目標と最終年度)			100.0 %		
(最終目標と最終年度)				順調 やや遅れ 遅れ	順調	

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	家庭訪問や個人懇談等を通して子どもについて情報交換を行い、保護者との信頼関係を深めて子育て支援を実施しました。また、17箇所の家庭支援推進保育実施保育所を中心としたケースの検討や事例研究、講演を含む研修会を開催したことから、順調としました。昨年度に引き続き特に配慮を要する子どもと保護者への支援を進めています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	保育所の機能を生かして子どもの発達援助や保護者の子育て支援をしているので、低コストで高い効果が得られます。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
特に配慮を必要とする子どもと保護者の支援に積極的に取り組みます。ケース検討・事例研究を行い、自己研鑽をし、保育の質の向上のため研修会の開催を継続します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	社会福祉施設従事者研修の充実							掲載ページ	
								42	
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	保健福祉局
		37,207	千円	37,417	千円	施策名	保育サービス	担当課	総務課

【Plan】計画 →					【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか 保育所、老人福祉施設、障害者福祉施設など、社会福祉施設において利用者のニーズにあった質の高いサービスを提供するため、従事職員の資質向上を図る研修(階層別研修、専門研修など)を実施します。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	各種研修事業を実施します。 (年間計画/階層別:6コース 延べ9回、専門:18コース 延べ24回)							
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	各種研修受講者数		2,173 人	2,206 人	2,113 人	95.8 %	大変順調	
	市内の社会福祉施設等従事者に対して一定程度研修機会を提供できたかを図るため、受講者数を活動指標とします。 (最終目標と最終年度)2,206人(現状維持) (平成26年度)							
					やや遅れ	順調		
(最終目標と最終年度)								

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	当初計画のとおり各種研修を実施し、受講者人数がおおむね目標人数に達するなど、福祉人材の資質向上に一定の成果を上げています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	統合保育研修やカウンセリング研修を教育委員会との共催により実施するなど、コストの縮減に努めています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
<p>市における福祉サービスに対する需要の増加、質の多様化・高度化が今後も益々高まることから、当該事業において保育士をはじめとする社会福祉施設等従事者に対する研修機会を常に提供し、福祉人材の資質向上を着実に図っていく必要があります。</p> <p>そのため、今後も、関係機関や団体、専門講師等と連携するとともに、それぞれの持つネットワークを有効に活用し、これまでの研修体系の継続性を維持するとともに、法制度の改正等に伴う研修内容の変更や時代のニーズに即応する研修内容の充実に努めていきます。</p>

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	保育所保育士加配						掲載ページ		
							H23年度新規		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		221,698	千円	199,107	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	質の高い保育を実施するため、保育所児童1人あたりの保育士配置基準の改善を実施します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	1歳児の保育士配置基準の改善を、国の基準である児童6人に対し1人から児童5人に対し1人に改善しました。平成26年度も引き続き保育の質の向上に努めていきます。					
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	1歳保育士配置基準の改善を実施	—	—	—	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	加配対象となる全保育所で1歳児保育士の加配を行います。 (最終目標と最終年度)					順調
	(最終目標と最終年度)				やや遅れ	順調
				遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	1歳児の保育士配置基準を、本市独自の加配した結果、子ども一人ひとりに関わることができ、子ども達に落ち着きが出てきました。また、子どもの怪我が減った等、保育の質の向上に繋がることから、順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	加配保育士については、常勤保育士ではなく、配置する保育士を臨時職員で対応するなどしており、経済性を意識しながら事業の実施に努めています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
平成23年7月から開始した1歳児加配(5:1)については、平成25年4月1日より「北九州市児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例」(平成24年北九州市条例第64号)が施行されることに伴い、1歳児5人につき保育士1名の配置を義務付けることとなりました。また、平成27年4月1日より、「子ども・子育て支援制度」の実施に伴い、3歳児の保育士配置基準の改善(15:1)を実施する保育所に対して公定価格に加算を行う、「3歳児配置改善加算」を新設します。これらの取組みにより、引き続き、保育の質の向上に努めていきます。